

別紙①

地域の会の経緯（第1期）

年月日	会議・視察名	内容	出席委員数	発電所を巡る動き
平成14年 8月29日 (2002)	東電の不正事件発覚			8/29 不正問題の公表
12月19日	第1回準備会	準備会設立趣旨、会の趣旨・目的、委員の構成・任期等説明	13名	
平成15年 1月27日 (2003)	第2回準備会	行政からの提案	14名	
2月13日	第3回準備会	会則について	14名	3/29 柏崎刈羽原発全号機停止
4月18日	予備会議	新委員による趣旨の確認、今後の進め方	21名	
5月12日	第1回定例会 (第1回情報共有会議)	委員委嘱状授与、不正問題の経過及び発電所の取り組み	23名	
6月 1日・2日	発電所7号機視察 (第1回発電所視察)	漏えい率検査、シュラウド及び再循環系配管	11名・9名	
6月 9日	第2回定例会	発電所視察報告、首都圏の電力需給問題	22名	
7月 2日	第3回定例会	4号機運転再開について	19名	
7月17日・31日	第1回臨時会	再循環系配管の点検データ確認	14名・8名	
8月 5日	第4回定例会	品質保証制度について	17名	
9月 3日	第5回定例会	維持基準導入の考え方	19名	
10月 2日	第6回定例会	特認申請とシュラウドについて	20名	10/6 1号機シュラウド補修作業完了 10/9 トラブル・運転保守上法統の公表範囲拡大
11月 6日	第7回定例会 (第2回情報共有会議)	異物混入問題、市長プレゼン：規制の在り方	21名	10/17 7号機給水加熱器で異物発見
12月 3日	第8回定例会	委員意見交換：異物混入問題・規制の在り方、異物混入問題について意見のとりまとめを行う	19名	11/7 異物問題に関する原因調査と再発防止対策を公表
12月14日	発電所1号機視察 (第2回発電所視察)	物品管理状況、1号機原子炉建屋・ドライウェル・サブプレッションチェンバー・大物搬入口・廃棄物集積所	13名	12/1 新潟・福島・福井県知事、国に対し原子力安全規制体制の在り方の検討等を要請
〃	意見書提出	保安院・東京電力に対して ～原子炉圧力抑制室内の異物問題に対する意見のまとめ～		
平成16年 1月15日 (2004)	第9回定例会	委員意見交換：規制の在り方	21名	2/9 東電副社長が、県・市・村への1号機起動要請
2月13日	第10回定例会	保安院との意見交換：山下首席統括安全審査官	18名	2/12 柏崎市長・議長・刈羽村長が、国・東電へ不正事件等の総括と再発防止のための意見を提出 2/19 東電が、柏崎市長・刈羽村長に対する不祥事の再発防止と再生への取り組みを提出
3月12日・13日	東海村視察研修	原子燃料工業、原研、原子力防災意見交換	14名	3/15 柏崎市長が、経産大臣に保安院の分離独立等要望 3/27 1号機原子炉起動
3月15日	第11回定例会	成瀬統括安全審査官説明「発電所における管理区域からの物品搬出状況について」委員意見交換、会長・副会長決定	23名	4/1 柏崎刈羽原子力保安検査官事務所長に、柏崎刈羽地域の原子力安全地域広報官として発令 モータ駆動弁開閉動作確認で弁が完全に閉まらない状態を確認し公表
4月 3日	第12回定例会	1・3号機運転再開についての意見交換	20名	4/14 3号機原子炉起動 4/27 5号機原子炉起動
5月12日	第1回意見交換会	今後の進め方、テーマ、情報誌	18名	6/28 2号機原子炉起動
6月 2日	第13回定例会	保安院・東京電力への提言・意見交換（原子力安全・保安院 田中原子力安全広報課長／東京電力(株)佐竹原子力本部副本部長出席）	19名	6/30 全号機の運転再開に伴い、知事・柏崎市長・刈羽村長が、県庁において三者会談、今後の取組等について総括
〃	提言書提出	保安院・東京電力に対して ～1年間を総括しての提言～		
7月 7日	第14回定例会	防災センター等視察、原子力防災	17名	7/2 知事が、国に対し「新潟県の提案」で安全規制体制の強化刷新等を再要望 7/4 経産大臣、柏崎刈羽原発初視察、市長・村長と会談
8月 4日	第15回定例会	原子力防災、発電所地震対策	18名	7/9 1号機の原子炉自動停止 7/20 東電勝俣社長が、知事・市長・村長を訪問、全号機運転再開の謝意と今後の取り組みについて報告
8月19日	第2回臨時会	美浜事故について	20名	8/11 7号機、制御棒操作監視系の不具合について公表 8/13 6号機、原子炉自動スクラム警報の発生
9月 1日	第16回定例会	コスト隠蔽問題：エネ庁、原子力防災：亀田氏	20名	8/18 美浜発電所3号機配管破損事故に係る、柏崎刈羽原発の配管点検状況結果について経産大臣に提出
9月12日・13日	発電所4号機視察 (第3回発電所視察)	配管点検状況、原子炉建屋地階の状況	9名・8名	
平成16年 9月28日 (2004)	防災訓練事前訓練視察	防災訓練事前訓練視察	7名	
10月 5日	第17回定例会	公開講演会「原子力・原発問題の歴史を展望する」：武田徹氏	16名	10/23 中越地震発生（M6.8） 県、中越地震に対応、連絡体制強化 10/28 IAEA（国際原子力機関）、OSART（運転安全調査団）の受け入れ開始について公表
11月 5日	第18回定例会	中越地震と発電所	17名	11/1 平成16年度原子力防災訓練の中止（又は延期）を決定 11/4 地震発生に伴う原子炉自動停止について公表
12月 1日	第19回定例会	地盤問題（資料公開請求）	18名	
平成17年 1月19日 (2005)	第20回定例会	今後の会のあり方について	19名	
2月 2日	第21回定例会	各オブザーバーからの総括、意見交換	15名	
3月 2日	第22回定例会	4月定例会について	16名	3/15 4号機における原子炉自動スクラム信号の誤発生について公表 3/29 会田柏崎市長、柏崎刈羽原子力発電所を視察
4月12日	第23回定例会 (第3回情報共有会議)	2年間の総括、オブザーバーとの意見交換	18名	4/14 県知事、柏崎刈羽原子力発電所及び柏崎刈羽原子力防災センターを視察
〃	意見書提出	保安院・自治体・東京電力に対して ～二年間を振り返って～		

※ ・定例会平均出席者19名：約8割 ・情報誌「視点」発行：11回発行（第7号より紙面刷新） ・運営委員会：19回開催 ・広報委員会：20回開催

地域の会の経緯（第2期）

年月日	会議・視察名	内 容	出席委員数	発電所を巡る動き
平成17年 5月31日 (2005)	第24回定例会	委員委嘱状授与、会の趣旨確認、役員選出、今後の会の進め方	22名	4/26 県「新潟県原子力発電所の安全管理に関する技術委員会」の開催
7月 6日	第25回定例会	原子力防災センター・放射線監視センター視察、原子力防災について	21名	6/9 県知事、安全協定を改定する旨発表
8月 3日	第26回定例会	原子力防災について	19名	7/3 5号機の原子炉自動停止について公表
8月21日・22日	発電所5号機視察 (第4回発電所視察)	原子炉建屋、格納容器内、タービン建屋	11名・12名	8/22 県、柏崎市、刈羽村、東電の四者間で、安全協定を改定
8月26日	意見書提出	原子力委員会に対して ～「原子力政策大綱（案）に対する意見書」検討書 公開勉強会：六ヶ所視察事前勉強会、核燃料サイクルの現状：講師/北大大学院教授 佐藤正知先生		8/25 1号機、原子炉建屋出入用二重扉の不具合について公表
9月 7日	第27回定例会	公開勉強会：六ヶ所視察事前勉強会、核燃料サイクルの現状：講師/北大大学院教授 佐藤正知先生	19名	8/31 保安院、原子力発電所の高経年化対策について「高経年化対策検討委員会」が報告
9月16・17日/22・23日	六ヶ所村視察	核燃料サイクル施設	12名・8名	
10月 5日	第28回定例会	保安院よりスクラム回数・チェルノブイリ事故、東電より5号機スクラムの件、六ヶ所村視察報告と事前勉強会を振り返って	17名	11/9・10 平成17年度原子力防災総合訓練の実施
10月13日	原子力防災訓練事前訓練視察	オフサイトセンターにて	7名	11/15 保安院、検査の在り方に関する検討会
11月 2日	第29回定例会	質問事項の回答、原子力総合防災訓練について	19名	11/22 県、原子力発電所の安全管理に関する技術委員会開催
11月 9日・10日	原子力総合防災訓練視察	オフサイトセンター、柏崎刈羽原子力発電所、市役所、市民プラザ、原子力広報センターにて	19名	11/29 保安院、女川原子力発電所地震時の耐震安全性評価について、原子力安全・保安部会 耐震・構造設計小委員会を開催
12月 7日	第30回定例会	手動停止回数の分析、原子力総合防災訓練感想	21名	12/6 2号機、原子炉建屋出入用二重扉の不具合について公表 12/24 3号機、制御棒引抜監視装置の不具合について公表
平成18年 1月11日 (2006)	第31回定例会	公開勉強会「放射線・放射能の基礎」について：NPO原子力防災支援センター 泉幸男先生	18名	12/28 保安院、「原子炉施設における高経年化対策の充実について」に係る指示文書等の制定等公表
2月 1日	第32回定例会 (第4回情報共有会議)	オブザーバーとの意見交換、谷中課長・会田市長・品田村長・千野所長	22名	1/26 県、新潟県国民保護計画（素案）への意見募集開始
〃	意見書提出	保安院・自治体・東京電力に対して ～原子力総合防災訓練を視察して～		2/10 7号機、原子炉給水流量計、復水流量計の実流量試験に関する疑義
3月 1日	第33回定例会	前回以降の動き：7号機の原子炉給水流量計ならびに復水流量計の実流量試験に関する疑義他、平成18年度視察について	21名	
〃	意見書提出	新潟県に対して ～新潟県国民保護計画（素案）に対する意見～		3/23 福島第二3号機、原子炉再循環系配管のひびに関する報告
4月 5日	第34回定例会	発電所の耐震安全性について、保安院との意見交換	18名	4/13 県知事、市長、村長が要請（東電：安全運転の徹底、原子力安全委員会：耐震設計審査指針の早期見直し）
4月27日	電磁波測定	西山町五日市、渡辺副会長宅周辺にて測定	11名	4/28 原子力安全委員会分科会にて、耐震設計審査指針の改訂原案がとりまとめられる
5月 1日	第35回定例会	電磁波測定の報告、再循環系配管の欠陥に関する報告	18名	5/11 保安院、発電用原子炉の新耐震指針とりまとめに対する対応を公表
6月 7日	第36回定例会	原子力安全・保安院平岡首席統括安全審査官との質疑応答：原子力安全規制について	21名	6/2 耐震設計審査指針の改訂を踏まえた地質調査の実施について公表
6月22日	意見書提出	内閣府原子力安全委員会に対して ～「発電用原子炉施設に関する耐震設計指針（案）」及び「原子力安全基準・指針専門部会の見解」に対する意見～		6/24 保安院、検査の在り方に関する検討会開催 6/25 保安院、耐震・構造設計小委員会開催
7月 5日	第37回定例会	公開勉強会「地震はなぜおこるのか？」講師：東京大学名誉教授 溝上恵先生	23名	7/13 保安院、「検査の在り方に関する検討会中間報告（案）」意見募集開始
8月 2日	第38回定例会	管理被ばく線量超過の件、3・4号機再循環系配管の取り扱い・検査制度の改善案について	18名	8/22 取水口付近における海底土からのコバルト60の検出 8/28 保安院、原子力安全委員会耐震指針検討分科会における改訂指針原案取りまとめ
9月 5日	地下探査（起震車）デモ見学	東電、原子力技能訓練センター駐車場にて	14名	9/5 地下探査デモンストレーションを公開
9月 6日	第39回定例会	荒浜町内会長より地区防災訓練の報告、「エネルギー政策について」エネ庁 電力・ガス事業部原子力発電立地対策・広報室長 鈴木洋一郎氏	19名	9/7 保安院、「検査の在り方に関する検討会中間報告書」とりまとめ
9月29日・30日	美浜・もんじゅ視察	美浜発電所、高速増殖炉もんじゅ、広井氏講話	20名	
10月 4日	第40回定例会	美浜発電所・もんじゅ視察の感想	17名	
10月 9日・10日	発電所7号機視察 (第5回発電所視察)	放射線線量計説明、原子炉建屋、タービン建屋、環境管理棟	9名・12名	
平成18年11月 1日 (2006)	第41回定例会	前回以降の動き：放射線監視強化・原子力防災計画の見直し、耐震設計審査指針関連	18名	11/9 キャスク保管庫におけるごく微量の放射性物質の確認について公表
11月17日	原子力委員会・ご意見を聴く会	原子力の平和利用の担保に係る施策の評価	5名	11/30 取放水温度差の補正について公表
11月22日	拡大運営委員会 (第40回運営委員会)	これまでの活動を振り返って・今後の地域の会のあり方について	16名	
12月 6日	第42回定例会	発電所における取放水温度差の補正について	19名	
〃	要望書提出	柏崎市に対して ～要望書（原子力の課名復活）～		
平成19年 1月10日 (2007)	第43回定例会	データ改ざん関連質疑	19名	1/10 1.4号機復水器出口海水温度データ改ざんに関する原因及び再発防止対策について公表
2月 3日	エネ庁・エネルギー説明会	原子力政策の課題と対応～原子力立国計画～	5名	1/31 新たなデータ改ざんの事実を公表
2月 7日	第44回定例会 (第5回情報共有会議)	5年前の東電不祥事以後の、それぞれの立場における、これまでの対処と評価、及び今後の展望について（渡邊防災局長・会田市長・品田村長・千野所長）	20名	
2月15日	第3回臨時会	東京電力㈱の法定検査に関するデータ改ざんについて	17名	3/1 検査データの改ざんに係る追加の報告徴収について報告書を提出
3月 7日	第45回定例会	東京電力㈱、改ざん問題に関する報告について	18名	3/30 検査データの改ざんに係る追加の報告徴収について報告書を提出
4月 4日	第46回定例会	東京電力㈱、改ざん問題に関する報告（3/30分）について	19名	
4月26日	拡大運営委員会 (第45回運営委員会)	新委員に対する地域の会概略説明、新旧委員による意見交換	25名参加予定	

※・定例会平均出席者 19名：約8割 ・情報誌「視点」発行：11回発行 ・運営委員会：24回開催